



ロベルト酒井の

# 南十字の空から

ブラジル通信 No. 20

平成 26 年 9 月 27 日～10 月 2 日

(平成 26 年度 第 5 号)

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一



州立学校で帰国生徒と面談①

## 帰国者と面談

クリチバ市同様、パラナヴァイ市でも州立学校を中心に帰国生徒や保護者と面談を行っています。面談を通してわかることは、今までと同様に「ブラジルの学校では、ポルトガル語の学習用語が分からずに困った」「日本との生活環境の違いに慣れるまでに時間がかかった」ということが大半でした。

しかし、ある生徒は「ブラジルに帰国後、学習や生活に困らなかった。むしろ日本へ行った時、小1～小3まで日本の学校

に通ったが、学習内容も日本語も全く分からなかったの、小4からは仕方なくブラジル人学校へ通った。」と言っていました。この生徒は豊橋市以外の市町村にいましたが、もし外国人児童生徒教育が進んでいる豊橋市にいれば、困ることはなかったかもしれないし、外国人児童生徒教育に携わる教育者にとって教訓となる話でした。

さて、面談の中で私が「どうしてブラジルに帰国することを決めたのですか？」と保護者に問うと、「日本に永住するつもりでいましたが、給料が上がらず生活に困り始めたので、息子の中学卒業を機に帰国することにしました。」とのことでした。日本への出稼ぎやブラジルへの帰国は、親の都合で子どもが犠牲になっているという見方もありますが、ある程度子どもの就学時期を考慮して帰国している家庭もあるのではないかと思います。そこで、今までの面談記録をもとに「帰国時の年齢」について以下の表にまとめました。

帰国時の年齢	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男(人数)	3	6	4	4	6	3	4	2	10	3		
女(人数)	4	6	2	6	4	7	5	1	4	7	2	1
計(人数)	7	12	6	10	10	10	9	3	14	10	2	1

\*平成23～25年までの本市教育委員会 指導主事がブラジルで面談した帰国者のデータをもとに数値化

\*帰国時の年齢が5歳以下の者は在日の記憶があまりなく、すぐにブラジルに適応できたため対象外

サンプル調査で、しかも兄弟関係もあるので一概には言えませんが、小1、中1、高1からの入学を考慮した帰国が多いことがうかがえます。ただ、現実には高1から入学できると思ったら、「ポルトガル語や他の教科の履修が不十分なので、中3に編入してください」と言われることが多いようです。



州立学校で帰国生徒と面談②

## 「この子」のために

訪問した州立学校で、『日本の先生が来るから、ギター演奏を発表しよう！』ということで、生徒たちが待っています。」と言われ、鑑賞することになりました。発表生徒は6人。弾き語りしながら2曲演奏してくれました。

実は、6人の生徒の中の一人は家庭環境に恵まれず、登校せずに荒れた生活を送っていました。学校は、音楽に興味がある「この子」のために、週2回の午後ギターの授業を行うことにしました。「この子」はギターの授業しか受けに来ませんが、少しでも学校に心を向けてくれるように、学校側が努力しています。つまり、私の前で練習の成果を発表することで、「この子」に自信を持たせこれからも登校できるようにしたかったのです。

私は、浮世絵が印刷された一筆箋にメッセージを書き、「彼（この子）」に渡しました。



ギター演奏を発表する生徒たち



街の選挙活動の様子

## パラナヴァイ地区州教育事務所 ホザナ所長と再会

所長は、私との再会を喜んでくださり、今年も私専属の担当者を着けて、全面的なサポートを約束してくれました。ただ、今年の州知事選挙で現職が再選されないとなれば、ホザナ所長は解任になります。ブラジルの選挙は各所の「長」に影響を与えるので、心配です。選挙結果については後日報告します。



ホザナ所長

## ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号は「マリンガ市までどのように移動したでしょう？」という問題でしたが、答えは「①パラナヴァイ市長に直接頼んで、公用車で送迎してもらった」です。あまり批判的にとらえないでほしいですが、ブラジルでは担当者に「上司の方に伝えておいてください。」と言っても伝わっていないことがあるので、依頼事項は直接トップに伝える方がよいと助言されていました。したがって、私は直接市長に依頼したというわけです。市長も快諾してくださり、すぐに側近の方に指示してくれました。ちなみに、高速道路で移動しましたが、ブラジルでは公用車の通行料金は無料です！

それでは第20問。「郷に入れば郷に従え」という言葉が日本にあります。私も「異文化理解」の一環として、ブラジルの文化・習慣を尊重して行動しています。例えば、会った時にハグをしたり、親指を立てて「グッド！」のポーズであいさつしたりすることです。しかし、異文化理解とはいえ、すべてを受け入れるわけではありません。日本人としてのアイデンティティーを大切にするため、私は「ある行動」だけは日本人として振舞っています。そこで問題。私の「ある行動」とは何でしょう？

① 訪問先で一礼する      ② ゴミをポケットに入れる      ③ 箸を使う      答えは次号で！